

委員会 レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

徹底(審)審査!!

厚生
教育
委員
会

「請願審査」
「教育予算の
確保・充実を!!」

10月定例会において、付託された議案は、請願1件。10月16日に教育厚生委員会を開催し、審査を行いました。

●教育予算の拡充を求める請願

審査では、請願の趣旨・内容は妥当であると認め、採決の結果、全員賛成で採択すべきものと決定しました。

また、請願の採択に伴い、「教育予算の拡充を求める意見書案」を提出することを決定しました。

《経済委員会》 7月29日～30日

先進事例を調査

行政視察報告



●定住促進について

(宮城県白石市を視察)

白石市では、都市部からの交流・定住人口の拡大を図るため、「田舎暮らし体験ツアー」を実施しています。自然や農業など白石市ならではの「体験」「泊」「食」の一体交流型の田舎暮らし体験を通して、豊かな自然環境や伝統文化などの魅力を知ってもらいます。ツアー募集人数は年間10家族程度です。体験内容は、田植え、稲刈り、里芋の植え付け、収穫、たけのこ掘り、芋煮会などを前期・後期の年2回に

分けて行います。総事業費は92万円です。

食料自給率の向上や、食の安全を進めるには、生産者と消費者の相互理解が必要と考えます。行方市は首都圏と約1時間半の距離にあり、消費者との交流を行うには条件的に恵まれた環境にあると思います。今後、白石市を参考に積極的に取り組む必要があると考えます。

●飼料米について

(岩手県一関市を視察)

一関市大東町は、遊休水田等の有効活用と穀物自給率の向上に資する対策として、飼料米に着目し、同市に養豚農場を持つ(株)フリーデン、東京農業大学と「飼料用米生産プロジェクト委員会」を設置し、生産の実態、コスト、養豚への給与などの調査研究を行い、成果を挙げています。飼料用米は、生産農家、畜産農家の双方にとってメリットがある取り組みですが、継続していくためには、公的助成金が不可欠であるため、農業関係者のみならず消費者にもこの取り組みの必要性を理解していただき、食料自給率

の向上や不作付け解消に向けて普及拡大していきたいとの話がありました。

行方市でも、平成20年度に0.5ヘクタール、平成21年度に10ヘクタールの飼料米の作付けが実施されています。飼料用米生産農家と畜産農家の耕畜連携による農業振興を図るためには、飼料の再生産価格の維持と環境を考えた循環型農業を畜産物の付加価値として価格に反映できるかが重要課題であると考えます。

所管事務(調)調査!!



委員会名	調査事項等
総務	7/14 ・ 指定管理者制度について ・ 防災行政無線整備事業について
教育厚生	7/31 ・ 保健福祉部及び教育委員会所管の施設について 9/ 8 ・ 新型インフルエンザ対策について
経済	7/10 ・ 平成21年度経済部主要事業及び所管の施設について 10/ 5 ・ 一般廃棄物(ごみ・し尿)関係事業の現状と課題について
建設	7/16 ・ 市道の整備計画について

